

# 1 用語解説

本計画で使用している主な(\*の付いた)用語の解説について、五十音順で整理しています。

## 《ア行》

### 【アスベスト(石綿)】

繊維状の鉱物で、安価な工業材料として建材、断熱材等、広範囲に使用されている。その繊維が極めて細かいことから、人が呼吸器から吸入しやすいという特質をもつ。

### 【ISO14001】

国際標準化機構(ISO)で制定した環境管理と改善の手法を標準化・体系化した国際規格。計画(Plan)、実行(Do)、点検(Check)、見直し(Act)というPDCAサイクルを構築し、継続的に実施することで、環境への負荷の軽減を図る。

### 【ESD(持続可能な開発のための教育)】

持続可能な社会の実現を目指し、私たち一人ひとりが世界の人々や将来世代、また環境との関係性の中で生きていることを認識し、よりよい社会づくりに参画するための力を育む教育。Education for Sustainable Developmentの頭文字を取ったもの。

### 【ウォームビス】

暖房時の室温を20℃にした場合でも、ちょっとした工夫により「暖かく効率的に格好良く働くことができる」というイメージを分かりやすく表現した秋冬の新しいビジネススタイルの愛称。重ね着をする、暖かい食事を摂るなどがその工夫例としてあげられる。

### 【アクション21】

中小企業等においても容易に環境配慮の取組を進めることができるよう、環境マネジメントシステム、環境パフォーマンス評価及び環境報告を一つに統合した環境配慮のツール。幅広い事業者に対して環境への取組を効果的・効率的に行うシステムを構築するとともに、環境への取組に関する目標を持ち、行動し、結果を取りまとめ、評価・報告するための方法を提供している。

### 【エコリズム】

観光旅行者が、自然観光資源について知識を有する者から案内又は助言を受け、その自然観光資源の保護に配慮しつつ、それらと触れ合い、それらに関する知識及び理解を深めるための活動。

### 【ESCO事業】

省エネルギーに関する包括的なサービスを提供し、省エネルギーに伴う光熱費の削減等の一部を顧客から報酬として受ける事業。Energy Service Companyの頭文字を取ったもの。

### 【NPO法(特定非営利活動促進法)】

特定非営利活動を行う団体に法人格を付与すること等により、ボランティア活動をはじめとする市民が行う自由な社会貢献活動としての特定非営利活動の健全な発展を促進し、もって公益の増進に寄与することを目的とする法律。

### 【温室効果ガス】

太陽から地表に届いた熱を受けて地表から放射される赤外線を吸収し、吸収した熱を再び地表に向かって放射することで、地表を暖める効果をもつ気体。京都議定書では、二酸化炭素、メタンなど6つの気体としている。

## 《カ行》

### 【環境効率性】

経済活動(GDP、製品・サービスの価値等)の単位当たりの環境負荷、もしくは環境負荷の単位当たりの経済活動で表される概念であり、これを指標として、可能な限り資源・エネルギーの使用を効率化し、経済活動の単位当たりの環境負荷を低減させる考え方。

### 【環境政策推進会議】

道庁内の各部局の連携と調整を図り、環境施策を総合的・計画的に推進するため、副知事を会長に、各部局長で構成する組織として設置。

### 【環境道民会議】

環境重視型社会の形成を目指して、道民・事業者・行政が連携して環境保全活動を積極的に推進するため、平成10年に設置し、現在、

住民団体や事業者団体などで構成している。

#### 【環境保全推進委員】

環境施策に道民の皆さんの意見を反映するため、北海道環境基本条例に基づき委嘱している。

#### 【環境配慮】

人や野生生物の内分泌作用をかく乱し、生殖機能を阻害するなどの悪影響をもたらす可能性のある物質（内分泌かく乱化学物質）のこと。

#### 【環境マネジメントシステム】

事業者等が環境に与える負荷を軽減するための方針等を自ら設定し、これらの達成に取り組んでいく仕組み。このシステムの国際規格が、ISO14001である。

#### 【企業の社会的責任(CSR)】

企業は社会的な存在であり、自社の利益、経済合理性を追求するだけではなく、ステークホルダー（利害関係者）全体の利益を考えて行動すべきであり、行動法令の遵守、環境保護、人権擁護、消費者保護などの社会的側面にも責任を有するという考え方。Corporate Social Responsibilityの頭文字をとった言葉。

#### 【北のクリーン農産物(YES!clean)表示制度】

道内で生産された農産物を対象に、農作物ごとに定められた化学肥料や化学合成農薬の使用基準に適合し、他の農産物との分別収穫・保管・出荷など一定の基準をクリアして登録を受けた生産集団が生産・出荷する農産物について、「YES!cleanマーク」を表示し、併せて化学肥料や化学合成農薬の使用回数などの栽培情報を知らせる制度。

#### 【クールビズ】

冷房時の室温を28℃にした場合でも、「涼しく効率的に格好良く働くことができる」というイメージを分かりやすく表現した、夏の新しいビジネススタイルの愛称。「ノーネクタイ・ノー上着」スタイルがその代表。

#### 【グリーン農業】

たい肥等の有機物の施用や、化学肥料の使用抑制など、農業の自然循環機能を維持増進させ、環境との調和に配慮した安全・安心で品質の高い農産物の生産を進める農業。

#### 【グリーン購入】

商品やサービスを購入する際に必要性をよく考え、価格や品質、デザインだけでなく、環境への負荷ができるだけ少ないものを優先的に購入すること。

#### 【グリーンツーリズム】

農家が経営する民宿(ファームイン)、農村体験など、農村地域に滞在し、農山村の自然・文化・人々との交流などを楽しむ滞在型の余暇活動。

#### 【グリーン物流】

運輸部門の自動車からの二酸化炭素排出量削減など環境負荷の少ない環境にやさしい物流体系を構築すること。

#### 【クリプトスポリジウム】

人や牛、豚などの哺乳動物の腸に寄生し、糞便と一緒にオシストと呼ばれる形で排出される大きさ4～6ミクロンの寄生性原虫。感染すると1週間程度下痢等をおこす。

#### 【経済的手法】

市場メカニズムを前提とし、経済的インセンティブの付与を介して各主体の経済合理性に沿った行動を誘導することによって政策目的を達成しようとする手法で、持続可能な社会を構築していく上で効果が期待される。

#### 【光化学汚染物質】

大気中の炭化水素や窒素酸化物が太陽などの紫外線を吸収し、光化学反応で生成された酸化性物質の総称。光化学スモッグの原因となり、高濃度では粘膜を刺激し、呼吸器への影響を及ぼすほか、農作物など植物への影響も観察されている。

#### 《サ行》

#### 【資源生産性】

産業や人々の生活がいかにものを有効に利用しているかを総合的に表す指標。天然資源等はその有限性や採取に伴う環境負荷が生じること、また、それらが最終的には廃棄物等となることから、より少ない投入量で効率的にGDP（国内総生産）を生み出すよう、資源生産性の増加が見込まれる。

### 【JICA (国際協力機構)】

Japan International Cooperation Agency.  
開発途上地域等の経済及び社会の発展に寄与し、国際協力の促進に資することを目的とし、技術協力(ODA)等を行う。

### 【循環資源】

廃棄物等のうち有用なもの。

### 【食育】

食の安全性や栄養、食文化などの食物に関する知識と「食」を選択する力を養うことにより、健全な食生活を実践することができる人を育てること。

### 【3R (スリーアール)】

Reduce(リデュース:発生抑制)、Reuse(リユース:再使用)、Recycle(マテリアル・リサイクル:再生利用、サーマル・リサイクル:熱回収)の頭文字をとったもので、この優先順位に配慮して3Rを推進している。

### 【スローライフ】

現代社会のスピードと効率を追い求める慌ただしい暮らしや働き方を見直し、ゆとりある人生を楽しみ、生活の質を高めようという動き。欧米で10年ほど前から広がりを見せている。

## 《タ行》

### 【地産地消】

地域で生産されたものを地域で消費すること。道内各地で生産者による新鮮な地場産品の直売や生産者等と消費者の交流活動など多様な取組が展開されており、消費者と生産者の相互理解を深めるとともに、輸送に伴うコストの低減や二酸化炭素の排出など環境負荷の低減に貢献すると考えられる。

### 【直接・枠組規制的手法】

直接規制的手法は、社会全体として達成すべき一定の目標と最低限の遵守事項を示し、これを法令に基づく統制的手段を用いて達成しようとする手法で、生命や健康の維持のように社会全体として一定水準を確保する必要がある場合などに効果が期待される。

枠組規制的手法は、目標を提示してその達成を義務づけ、あるいは一定の手順や手続き

を踏むことを義務づけることなどによって規制の目的を達成しようとする手法で、規制を受ける者の創意工夫をいかながら、効果的に予防的あるいは先行的な措置を行う場合などに効果が期待される。

## 《ハ行》

### 【バイオエタノール】

サトウキビやトウモロコシなど農作物や木材・古紙等のセルロース系バイオマスといった植物由来の多糖から製造した液体アルコールのこと。

### 【バイオディーゼル燃料 (BDF)】

菜種油等の植物油や使用済みてんぷら油といった廃食用油等にメタノール等を加えて化学反応させて(エステル化)精製したもので、軽油代替燃料として使用されるバイオマスエネルギーのひとつ。

### 【バイオマス】

再生可能な生物由来の有機性資源で石炭や石油などの化石資源を除いたもの。廃棄物系バイオマスとしては、廃棄される紙、家畜ふん尿、食品廃棄物、建設発生木材、黒液、下水汚泥など、また、未利用バイオマスとしては、稲わらなど農作物非食用部や林地残材がある。

主な活用方法としては、農業分野における飼肥料としての利用などのほか、燃焼して発電したり、アルコール発酵、メタン発酵などによる燃料化などのエネルギー利用などもある。

バイオマスに含まれる炭素分は、植物がその成長過程において大気中の二酸化炭素を固定したものであり、バイオマスを燃焼しても大気中の二酸化炭素を増加させないカーボンニュートラルという特性を有する。

### 【廃棄物等】

一般廃棄物・産業廃棄物に加えて、使用済み物品、副産物等を含む概念。

### 【PRTR制度】

人の健康や生態系に有害なおそれのある化学物質について、その環境中への排出量及び廃棄物に含まれ事業所の外に移動する量を事業者が自ら把握し、行政に報告を行い、行政は事業者からの報告や統計資料等を用いた推計に基づき、対象化学物質の環境中への排出量や廃棄物に含まれて移動する量を把握・集

計し、公表する仕組み。環境汚染物質排出移動登録制度。

#### 【PCB(ポリ塩化ビフェニル)】

有機化合物の一つ。不燃性で、熱に強く、絶縁性にすぐれ、化学的にも安定していて分解されにくく、動物の脂肪組織に蓄積されやすい。従来、熱媒体、絶縁油、塗料に使用されていたが、人に対し皮膚障害、肝臓障害を引き起こす毒性を持つことから、現在では、国内で製造は禁止されている。

#### 【PDCAサイクル】

プロジェクト等の実行に際し、計画をたて(Plan)、実行し(Do)、その評価(Check)に基づいて改善(Action)を行うという工程を継続的に繰り返す仕組み。

#### 【北海道環境マネジメントシステムスタンダード(HES)】

ISO14001を基本とした中小企業向けの環境管理システムで、取り組みやすい内容であることや、費用負担が小さいことが特徴。北海道商工会議所連合会などの経済団体が中心となり策定した。

#### 【北方圏フォーラム】

北方圏地域に共通する課題や北方圏地域に影響を与える世界的規模の問題の解決を図るため、北方圏地域の地方政府が協力して取り組むため、1991年に設立された国際機関で、現在8か国15地域が参加している。

### 《マ行》

#### 【マイバグ運動】

レジ袋の原料である石油の使用量削減や家庭でのレジ袋廃棄量の削減などを目指し、レジ袋を使わず、消費者が持参した袋・バッグを使用する運動。

#### 【マリン・ツーリズム】

漁村地域を訪れ、海や渚、漁村生活や文化に身近にふれながら、地域の人々との交流などを楽しむ滞在型の余暇活動。

#### 【木育(もくいく)】

「木とふれあい・木に学び・木と生きる」取組を通じて、人と木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育むこと。

#### 【モーダルシフト】

トラック等による幹線貨物物流を、環境負荷の少ない大量輸送機関である鉄道貨物輸送や内航海運に転換すること。

### 《ヤ行》

#### 【有機農業】

化学肥料や農薬を使用せず、遺伝子組換え技術を利用しないことを基本に、環境への負荷をできる限り低減した生産方法による農業のことで、「有機農業の推進に関する法律」第2条で定義されている。

### 《ラ行》

#### 【リサイクルポート】

国土交通省が推進する「静脈物流拠点港」のこと(人間の血液の流れに例えて、製品の流通を動脈物流、使用済製品や廃棄物の流通を静脈物流という)。

#### 【リスクコミュニケーション】

化学物質による環境リスクに関する正確な情報を住民、事業者、行政等の全ての者が共有しつつ、相互に意思疎通を図ること。

#### 【レッドリスト】

環境省が、日本の絶滅のおそれのある野生生物の種について生息状況等を取りまとめたレッドデータブックに掲げるべき種のリストのこと。

#### 【LOHAS(ロハス)】

健康と環境面を中心とした持続可能性を重視した生活スタイルのことで、Lifestyles Of Health And Sustainabilityの頭文字を取った言葉。